

19 スイセン (ニホンスイセン)
Narcissus tazetta var. *chinensis*
 (ヒガンバナ科)

りん茎で繁殖する球根植物で、西日本各地の沿岸部に自生がみられる、花茎先端に数花をつける。花被は乳白色で、雄ずい由来の濃い黄色の副花冠を生じる。移植すると副花冠の形が乱れるので、通常据置き栽培する。強い芳香を発する。生け花花材として、正月を中心に利用される。はかまをつけて花茎と葉が離れないようにして出荷される。高温下では著しく日持ちが悪くなり、10℃では通常2週間以上日持ちするが、20℃では1週間程度である。糖処理は小花の萎れを抑制する。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の萎れ・褐変	A: 発生なし, B: 第1花が萎れる, 全小花の, C: 1/3が老化する, D: 1/2以上が老化する。	小花の老化は, A: 萎れなし, B: 花被の周縁部がわずかに萎れる(巻き込む), C: 花被全体が透き通り, 花被周縁部でしおれる。D: 花被周縁部が褐変するとして判定する。C, Dの小花を老化したと判定する。
茎葉の黄変	A: 黄変なし, B: わずかに黄変する, C: 茎葉全体に黄変が広がる, D: 茎葉全体が激しく黄変する。	ジベレリンを前処理すると黄変が抑制される。
軟弱茎	A: 直立する, B: ややしなる, C: しなる, D: 折れる。	
その他	不開花など。	

2) 留意点

評価温度を20℃とする。

品質評価開始時点での小花数および経時的に未開花数, 開花数, 老化数を測定する。

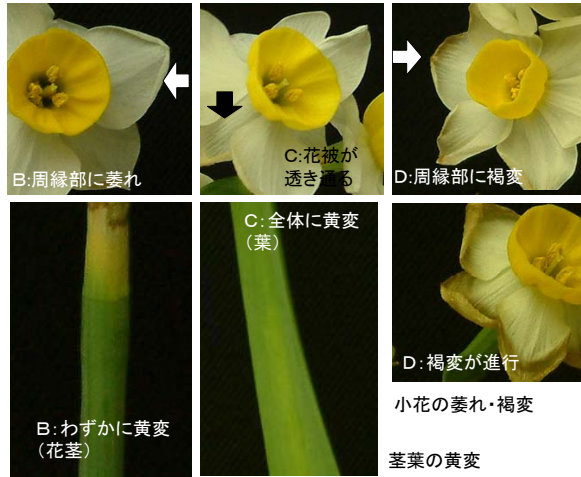
通常小花はすべて開花する。

前処理はほとんど行われていない。

3) 開花



4) チェック事項



5) 品質チェックシート

品目 スイセン(ニホンスイセン)
 品種 産地

市場
 担当者
 評価開始日

個 体	項 目	経 過 日 数										日持ち 日数	メ モ	
		0	1	2	3	4	5	6	7					
1	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
2	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
3	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
4	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
5	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
6	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
7	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
8	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
9	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													
10	小花の萎れ(開花-老化)													
	小花数(開花-老化)													
	茎葉の黄変													
	軟弱茎													

評価条件等に関するメモ
 開花数は老化していない小花数,